

クリニックの知恵

44

整理や収納を見直したり、システムをカイゼンしたことで生まれ変わった医院の知恵をご紹介します。



宮本麻美 歯科衛生士
小原啓子 代表取締役
藤田昭子 歯科衛生士

(株)デンタルタイアップ

ハンディキャップを 持っていても 工夫して働きやすく！



同じ方向を目指すには
理念の共有が必要

スタッフの一つ一つの行動や迷いが生じた時の判断の指針などは、同じ理念を共有すればブレない。そのために理念教育の時間を設けている。

今回の
カイゼン医院

医療法人社団久和会
わく歯科医院
兵庫県丹波市

カイゼン歴 12 年目

院長 和久雅彦
歯科医師 6人
歯科衛生士 12人(うち非常勤2人、育休1人)
歯科助手 6人(うち非常勤4人、育休1人)
受付 5人(うち非常勤1人)
言語聴覚士 1人
管理栄養士 1人
保育士 2人
歯科技工士 4人
事務 1人
滅菌スタッフ 4人

ユニット：13台



会議室



マスキングテープで戻す位置を分かりやすく！

動かした椅子や机を定位置に戻すために、床にマスキングテープで目印をつけている。会議室はいつもピシッと整えているため、自然と気が引き締まり姿勢が正しくなる。



障がい者雇用で地域貢献

2024年の「日本でいちばんたいせつにしたい会社大賞厚生労働大臣賞」を受賞したわく歯科医院。実は1年前に受賞の声掛けをいただきましたが、辞退した経緯があります。この賞をいただくには、組織としてまだまだ足りないという思いが生まれ、障がい者雇用についてより一層本気で考えて取り組もうと決心したからです。

それから「互いの違いを尊重し、自分

が相手の成長と笑顔のために何ができるのかを探す」という理念の下、当事者から学ぶために障がい者雇用を実施。聴覚障がいのある人と知的障がいのある人を雇用しました。得意不得意に関係なく、自分の仕事に自信と誇りを持てるようにカイゼンを進めています。

また医院独自の奨学金制度も設け、スタッフが地域の歯科衛生士学校に進学するための支援もしています。